

吉野川市教育委員会会議録

招集年月日 平成27年8月28日
招集の場所 吉野川市役所東館 2階 221会議室
開閉会日時 開会 平成27年8月28日 午前10時00分
閉会 平成27年8月28日 午前11時52分

出席委員 委員長 中 洋子
委員長職務代理者 笠江 俊文
委員 菊川 充憲
委員 上野 準二
委員 鹿児島 康江
委員(教育長) 石川 邦彦

出席職員 教育次長 貞野 修二 教育次長 寒川 健治
教育総務課長 井上 泰男 学校教育課長 住友 美香
生涯学習課長 吉永 正雄 学校再編準備室長 片山 富造
給食センター所長 岡田 英晴

議案

(1)平成27年度一般会計補正予算(教育委員会関係)について

報告事項

- (1)学校再編計画について
- (2)幼保再編計画について

教育長報告

その他

会議の経過

委員長	ただいまから、吉野川市定例教育委員会を開会します。 委員6名出席されており定足数に達しています。 前回の会議録の承認をお願いします。(前回会議録署名委員承認) 今回の会議録署名委員に、笠江俊文委員、鹿児島康江委員を指名。 それでは、議案第1号「平成27年度一般会計補正予算(教育委員会関係)について」を議題とすることにいたします。事務局より説明をお願いします。
井上教育総務課長	教育総務課から説明をします。今回の補正では、小学校管理諸費の修繕料として、1,900千円を計上しています。内訳としましては、1,900千円の内、900千円が台風11号対応分となっています。災害内容としましては、山瀬小学校の両開きアルミ戸破損、山瀬小学校の倉庫屋根破損、牛島小学校アルミ戸破損等が主な修繕となっています。残りの1,000千円につきましては、当初予算で8,500千円を計上し、順次修繕を行っていましたが、予算執行中にプールの給水ポンプ改修や、動力・電気配線設備など緊急を要する修繕が想定以上に多数あったために、今後の修繕料を担保するための計上です。以上です。
吉永生涯学習課長	引き続きまして、生涯学習課関係の補正予算についてご説明いたします。 まず、上の欄、文化振興費の工事請負費・補正額945千円は、文化研修センターの研修室のエアコンが経年劣化により故障したことに伴う取替工事を行う補正であります。 次に、下の欄、体育施設費の修繕料・補正額450千円は、台風11号の強風により川島小学校の防球ネットの支柱が折れ曲がり、危険な状態であると考えられるため補修を行う補正であります。以上です。
委員長	ありがとうございました。この件に関しましてご質問、ご意見はございませんか。

ないようですので、議案第1号「平成27年度一般会計補正予算（教育委員会関係）について」承認したいと思います。

それでは、報告事項（1）学校再編計画について、事務局よりご説明をお願いします。

片山学校再編準備室長

川田・美郷地区の学校再編に係る業務につきましては2回の地域ワークショップと保・幼・小学校の教職員を対象としたワークショップを1回・南町自治会での地域説明会を1回開催しました。

また、昨日学校再編準備委員会を開き、校名のアイデアを3つ選んでいただきました。「高越」「山川」「美川」となっています。次の定例委員会で1つの案に決定して頂きます。新たな学校名の追加に関する吉野川市立学校設置条例の一部改正については、4小学校の廃校と同時に行うべきかと考えていますので、平成30年3月議会において議決頂きたく準備を進めてまいります。

続きまして、基本設計業務につきまして進捗状況を報告させていただきます。これまでのワークショップで出された要望や意見をできる限り反映させまして今のところ次のような配置図となっております。

100m直線コースが必要との先生からの要望につきましては大・小プールを一体型のプールにすることで土手側に2コースとすることが可能となっております。続いて校舎1階ですが教室の形と職員室・印刷室・給湯室・特別支援教室横トイレ、流し・ステージ横倉庫・メディアセンター空調設備等の改善・設置がなされています。

こども園につきましては、0・1歳児の保育室と調理室の配置で悩みましたが、保育所・幼稚園・川島こども園の職員の意見を尊重した保育室の配置となっております。今後は、設備について各学校の教科担当者等と検討会を持ち、現場の意見を吸い上げながら詳細設計を進めてまいります。

続きまして、鴨島東部地区の学校再編についてご報告いたします。

8月3日、吉野川市役所東館231会議室におきまして3校区（上浦・牛島・森山）の幼稚園・小学校の代表者16名により、意見交換会を行いました。

各校区の主な意見はこのようになっております。牛島小学校区では、子ども達の教育環境の整備は大勢の中で育ててやりましょうということで、意見が出ていました。最後に、再編が進まない場合であれば、校区の選択制等も検討してはどうかとの話もありました。森山小学校区は再編による横のつながりも大切ですが、いままでどおりの縦のつながりも重要だという意見がありました。一番は通学についての不安があるとのことでした。上浦小学校区は、子どもの人数が少なく、かなりお母さん方も教育、再編について自分なりに勉強を進めていて、少ない人数でのメリットがあることは自身では理解しているが、少なすぎるのはデメリットだと思う、このような機会を早くもって再編を進めていって頂けたらとの意見がありました。その一方で再編よりも今のままでいけないか、との意見もありました。

現在、学校の果たす役割は、多岐にわたっています。そのため、視点が変わると様々な意見があります。それらすべてに配慮し、バランスがとれてはじめてより良い教育がなされると考えます。しかし、それは各個人に向けられた配慮ではいけません。全ては、「子どもたちの輝く笑顔のために」、「生き抜く力」（息抜く力）を育む教育の実現に向け、再編に係る全ての方がこの思いを共有し、ベクトルをあわせ、様々な視点から意見を出し合い、議論し、より良い教育環境を創りあげていけるよう教育委員会として責任を持って、進めてまいります。以上です。

委員長

ありがとうございました。この件に関しましてご質問、ご意見はございませんか。

委員

上浦地区では、お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさん、かなりの反対意見が多いように思います。2年ほど前の会でもかなり厳しい意見が出たように覚えています。保護者のアンケートでは2割程度しか賛成の意見がなく、内容としては少なすぎたらデメリットが大きいと書いているものが多く見受けられました。

貞野教育次長

昨年も4月にPTAの総会に伺った時もそのようなご意見がありました。賛成・どちらともいえない・反対の3つのうち、反対の方は、帰ってきたときに学校がなくなれば

帰ってくるできないので、結局寂れていくということで、学校再編については反対だということでした。人口増の施策ができていないからという意見もありましたし、上浦は位置的に東端になり、再編計画の素案で、鴨島東中学校の場所となっていますので、遠いということもあります。また、低学年の方は再編をして欲しい、高学年になれば再編はして欲しくないということで、温度差があります。その差を埋めるのは難しいと思っています。今後の予定ですが、就学前のお子さんを対象にした意見交換会を各校区で行おうと考えています。

委員長 地域の方にとって、学校が地域の拠点としてとらえられているように思います。子ども達の教育の場という以上に、地域の方の学校が無くなれば火が消えたようになるという思いが強いのかもしれません。

これから社会に出て行く、子ども達にとってどうなのかということを地域の人に考えて頂くことが重要かと思えます。少人数になると、先生と子どものあまりに密接すぎる人間関係が生じたり、友達関係も息抜きができなくなります。友達がたくさんいるとか先生方とも距離を置いたり縮めたりできる環境が、ある程度必要と思えます。

委員 私はちょっと違うのかなと思います。3校区の保護者の方ご意見を聞かせていただいて、保護者の方達は不安になっているのではないかという気がします。私達が今まで統合してきた美郷地域をとってみても、統合しなくてはいけないとか、子どもが少ないのでなんとかしなければいけないということはわかっていました。教育委員会の事務局の方には少し耳が痛いかもしれませんが、この先にどういうなことがあるのか、ということを経済委員会から前向きプランを示していく必要があると思えます。そうしなければ、いくらアンケートをとってみても賛成の意見は多くならないと思えます。上浦小学校の地域の方のアンケートの中で、小中一貫ということを探索してみてもという意見がありました。例えばそのような意見もあるとすれば、教育委員会の中で話し合いの場を設けて、このようなプランをもあるという積極的なご意見を示していかなければ、賛成の意見は永久に出ないと思えます。

委員長 ありがとうございます。他になにかご意見はございませんか。

委員 山川の100mコースは1コースですか。

片山学校再編準備室長 2コースです。

委員長 2コースしか無いのですか。

片山学校再編準備室長 横幅、2.5mくらいで走る幅として、十分かなと思っています。陸上の練習しているときにだいたいどの学校も1本引いて両サイドを走らせることが多く、4人5人で走らせることはほとんどありません。2コースとれたら陸上には十分と思われそうですので、今のところ2コースとして線を引いています。

委員 すみません、先ほどのお話のことで、なるほどと思ったのですが、例えば新しく校舎ができる場所は今の鴨島東中学校ということは、はっきり打ち出せるのですか。小中一貫ということは難しいのでしょうか。

石川教育長 それは打ち出してはいません。ただ、内容的に考える余地はあるかなとは思っています。小学校の統廃合というよりも、中学校をどうするかというところがもともとのネックになっています。

1つ気にかかるのは、なんでもかんでも教育委員会は上から押しつけてくるという意見もあります。すべて決めて説明をするともう決まっているんだなという考え方をする人もいらっしゃいます。どのタイミングでどのような内容を話しをするか、事務局として考えなくてはなりません。もちろん、反対意見も多いという中で、できるだけ就学前の保護者の方や地元の意見を頂きたいと思っています。

委員長 事例や知識の部分で偏りがあって、保護者の方にとって判断基準がないと思います。ですから、いろいろな事例を紹介するという形で示していくことが重要であると思われる。美馬市などでは、教育委員会で3つくらいの小学校を統合する計画でしたが、地域の方からもっと広範囲にしたほうが良いのでは、という声が上がって現在ではそのようになっています。吉野川市とよく似た環境の地域で統合がどのように行われているか、判断するための材料や情報を保護者の方に提示する必要があると思います。

貞野教育次長 学校再編の説明会でも同じようなことを言われました。通学支援のことで、一番端から示した鴨島東中学校の場所まで遠いということで、教育委員会でそのようなことを示さないで統合を進めようとしているのか、という意見も確かにありました。先進地事例を提示しても良いのですが、教育長がおっしゃったようにいろいろな考えを持った方がいらっしゃいますので、やはり我々が申しあげても、そうではないという方もいます。たまたま平成26年度に、川田・美郷地区で複式学級となる学校が3校あったということで、保護者の方は、自分の子どもが複式学級に該当するとわかり、学校再編をして大規模校で子ども達を育てて欲しいという願いがございましたし、通学支援も学校の中で決まっていますので、どのような歩き方をしているか、再編準備委員会で検討してやっていきたいということを説明会でもお答えしました。一番は子ども達の教育環境を考えて、生き抜く力を育てていきたいという、少し漠然としたことではあります。今の段階で教育委員会していえるのはそれぐらいだと思います。出生したお子さんが2人という学年もあり、地域の中でお話をしているようです。どういう方向にもっていった方が良いのか、鴨島東部では模索している状況です。鴨島東部をほっとしているのかという意見を頂くこともありますが、意見交換会等を行い、修学前の保護者の方に多くを発信していければと考えています。

委員長 保護者の賛成が無い限りは学校再編は進まないということですか？

貞野教育次長 川田・美郷で行ったような手順を踏まなければ、地域の中心的な役割を果たしている部分がございますので、川田・美郷地区で説明をした時に、「子どもは地元へ帰ってきますので、まずは地元でみてください。」と申しましたら賛同を得られましたので、そのようにもっていければと考えています。

片山学校再編準備室長 保護者の方をお願いしたのは、アンケートをとったのでは実際のところ、賛成・どちらでもない・反対ということで、そうではなく、子どものこれからの教育活動を進めていく教育環境の場をどのようにするのが子どもたちにとって良いのか、ということをもう一度保護者の方の中で広めて頂いて、いろいろな子ども達のことを考えた意見を出して頂ければと思っています。やはり今のままが良いというかもしれませんし、3つを一緒にした方が良いというかもしれませんし、「再編」と名前はついてはいますが、これからの教育活動の場をどのように保証していくのかということをもう一度、各PTAでお話をしたい、そのための説明はどんどん出向きますのでということをお願いをして参りました。一番は、地域の方もしっかりと子どもの教育について考えて、「再編」がカンフル剤となって子どもたちを取り巻く環境を改善し、地域の方々が子どもを中心としながら、教育できる環境にできればと考えています。

委員 保護者の方の何人かの意見を聞きましたら、子ども達のことを思えば統合のことは賛成ですと、どの方もおっしゃいます。ただし、通学に関することで担保していただければという条件で、どの方とお話をしても自分の子ども達が、安心安全で無事に学校の往復ができるということが担保されるのであれば、統合には賛成だと言う方がほとんどです。絶対嫌だという人は今まで話を聞いてきた中では1名だけでした。やはり通学のことが一番ネックになってきていると感じています。

委員長 それだけでもはっきり提示してあげるべきかもしれませんね。

委員	わかっていても言えない場合があると思うんです。ですから、それに近いものを選択肢として3つか4つか提示して、教育委員会も考えていますというアピールをしても良いのかもしれませんが。強硬派に対してはそのような隙もみせていかないと、構えてばかりでは賛成も得られないのかなと思います。
委員長	心配の種を一つずつ、協議をして答えを出していくことも必要ですね。引き続きよろしくをお願いします。 この名前はまだ決まっていないのですね。来月ですか。
片山学校再編準備室長	来月です。よろしくをお願いします。
委員	最終的にはどのような決め方をするのですか。
貞野教育次長	9月の定例会には議案とさせて頂いて、教育委員の皆さんで決定して頂くようになります。
委員	責任重大ですね。
貞野教育次長	1つ選んで頂いて、小学校、こども園とも、同じ名前となり、設置条例を変える必要がありますので、平成30年の3月議会において議決を頂くこととなります。まず、これが決まれば校章、校歌、校旗が決められませんが、再編準備委員会で名称の候補を3つ決めて頂いて、教育委員会で最終決めて頂いて、それを議会に上げていくというスケジュールになります。
委員	「高越」という名称が一番多いですか。
委員長	「山川」も多いのではないですか。
片山学校再編準備室長	候補の半分が「高越」です。あと1票とか、多いもので2票のものが、あとの候補で、1つで絞られていたら教育委員会で決めて頂く必要性が無くなりますので、3つを再編準備委員会で選定して頂いています。それを1つに教育委員会の方で決めて頂くように考えています。
委員	この「美川」というのは、美郷と川田からきているのですか。「山川」というのは、私の認識では「山瀬」と「川田」が一緒になって、「山川」という風に思っていました。「川田」というのは使えないのですね。
片山学校再編準備室長	今ある学校の名前は使わないということで、再編準備委員会で同意を頂いています。この冊子に案がありまして、応募頂いたすべてを記載しています。「高越」が読み方は別として11件ありました。
委員長	「高越」というのは読み方が難しいので、ひらがなにするという意見は無かったですか。
片山学校再編準備室長	そのような意見もありました。
委員長	これを本当はどのようにするのか…。
石川教育長	それを次回、話合うことにしますか。
委員長	そうですね。次回にしましょう。 それでは報告事項(2)「幼保再編計画について」、事務局から説明をお願いします。

住友学校教育課長	<p>本市の幼保再編における山瀬幼稚園については、前回6月の定例教育委員会の議案で委員の皆様からご承認を頂いたところです。</p> <p>平成29年度末「山瀬幼稚園の廃止」、平成30年4月「幼保連携型認定こども園の開園」に向けて、教育委員会事務局全体で、さらには子育て支援課とともに、調査及び協議を重ねてまいりました。そこで、これまでの進捗状況及び今後の計画並びに課題等について、学校再編準備室長からご説明をいたします。</p>
片山学校再編準備室長	<p>山瀬こども園（仮称）についての経過報告をさせていただきます。</p> <p>こども園（仮称）についてこれまでの工程につきましては、このページのとおり保護者への説明会を持ち、平成28年10月から平成29年9月の期間でこども園の園舎工事を行う予定でした。この際、幼稚園児の活動場所の確保をどうするのが課題となっていました。また、新保育料制度が平成30年4月から開始となることも保護者にお知らせする必要があります。</p> <p>こども園舎の建設場所については、防災・事故防止・安全確保・遊具の位置・外部からの利用・こども園の利便性等を考慮して現在の幼稚園側に決定しました。また、幼稚園の園舎が平成24年国からの補助金により耐震工事と床・トイレ・天井等の改修をしており、平成35年までは返還金の関係で取り壊さずに建築する予定でした。</p> <p>これがその工程表です。この図は7月28日に健康福祉部と教育委員会が山瀬小学校での現地視察の際の提示された平面設計図です。このことから分かるように、こども園舎が31m運動場に入り込んでくると共に校舎との間隔が7mと狭く採光だけでなく圧迫感のある図面となっていました。その後園舎を南に11m移動させ、校舎と18mの距離をとった案が再度提出されました。</p> <p>どちらにしましても問題点として、幼稚園児の安全性・幼稚園の教育活動の確保・送迎時の駐車スペース・小学校教育活動への影響・こども園での保育・教育活動への影響・こども園園児の安全性等が出てきました。</p> <p>今年度国への確認作業を行う中で、こども園改築に係る場合は、補助金の返還が生じないこととなり、小学校教育活動への影響・こども園での保育・教育活動への影響・こども園園児の安全性などの問題点の解決として、幼稚園園舎を取り壊し、新たに平屋建てのこども園園舎を建築することが将来的に望ましい、となりました。</p> <p>また、工期が12か月で終了可能であることから・幼稚園の教育活動の確保・小学校教育活動への影響等、問題の解決として平成29年度1年間での工期の変更としました。さらに、幼稚園の教育活動の確保・送迎時の駐車スペースの問題に対しては平成29年度にこども園の認可を受け、全園児を受け入れることで解決を図るといたしました。</p> <p>このことについては、県から仮設園舎を含む場合は、認可できないとの回答を受けました。そこで、現在の状況といたしまして、こども園建築工事は幼稚園側については平成28年3月卒園後の着工、小学校運動場側については運動会を5月に実施し、運動会終了後、着工する予定です。子どもたちの活動については平成28年度は従来どおり行えます。平成29年度幼稚園は仮の園舎で保育することになります。仮の園舎については小学校の教室をお借りし、足りない部分は、仮設園舎を検討しています。以上です。</p>
住友学校教育課長	<p>学校教育課といたしましては、平成29年度の山瀬幼稚園の教育活動の確保に向けて、山瀬小学校と山川東保育所の協力を得ながら、調整を進めてまいります。また、仮保育室での「預かり保育」の実施についても十分な検討を重ねていくことが必要です。園児の保育環境と小学校児童の学習環境・教育活動への影響等を考慮しながら、慎重に検討してまいります。</p> <p>また、平成28年度、平成29年度に幼稚園教育を求めて入園され方々に対しては、工事期間は仮住まいとなっても小学校就学に向けた生活や学習の基盤の育成につながる保育活動をめざし、安心してお預けいただけるよう工夫と努力を重ねていかなければなりません。そのためにも、入園希望者への調査を行い、山瀬地区の保護者に対する説明と相談を本年11月には実施できるように考えております。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。この件に関しましてご質問、ご意見はございませんか。</p>

委員 平成24年度に耐震工事をしましたよね。その後、給食室が無く、わざわざ整理もしたんです。とても不便な思いもして、子ども達も危険な目にあわしながら、園庭に資材があって、それをくぐりぬけて通園していました。職員室も小学校に借りて、長い間大変なことだったんです。その時どのような見通しでされていたのか、びっくりします。まだ3年しか経ってないんですよ。その時、将来はここにこども園が建つのかなと思っ
てはいましたが、それでもかなり古く不便でした。簡単に解体してしまうのですね。

貞野教育次長 結局、幼保再編構想が平成23年3月に健康福祉部の方で作成して、吉野川市をいくつかのゾーンに分けて、再編するという事になっています。その話と同時に、学校再編の話もできまして、幼保再編となれば、民営でも公営でもできますし、今回進めています川田・美郷地区の小学校こども園に関しましては、公で行います。
鴨島中部地区につきましては鴨島幼稚園がありますし、民間の幼稚園もいくつかございます。そのような場合、できるだけ民間の活力を活用しようという方針もあります。平成26年4月から山川東保育所を社会福祉法人かもめ福祉会に譲渡した中で、国も幼保再編を進めていく状況で、かもめ福祉会も山川の東部地区と鴨島の西部地区に認定のこども園化をしていきたいという方針を持っておられ、山川東保育所の場所に、本来であれば、平成26年に幼稚園・認定こども園を建てるということでした。やはり、校庭の利用具合や、子どもの安心安全面からすれば、難しいということで、山瀬幼稚園のところにどうですかという話がでました。
校長先生にもお話を伺ったところ、西よりも東の方が安全面に優れているということで、耐震工事については、やはり、子どもの安心・安全が一番で、本市は平成24年度にすべての学校施設にクーラーも入っていますし、耐震も済ましたような状況で、まだ山瀬はできていなかったということです。いつ地震もおこるかかわからないという状況の中で耐震をし、建築が昭和57年ということで改修をさせて頂きました。民間のほうで認定こども園化をしたいという話が山川東部であって、それから民間活力を活用することとなりまして。最初は残すという話しをしていましたが、2階建てとなって子どもにとっては不便かなということで、県にも問い合わせたところ、こども園化をするのであれば償還は生じないという国の方針もありますので、それであれば平地に平屋建てとすることを決定しました。小学校も含めて、平成28年度、29年度はご迷惑をかけてしまうのですが、安全面を考えていきたいと思えます。

委員 幼稚園とこども園が一緒になると人数が増えスペースが足りない。何十人分も足りないのですか。

貞野教育次長 計画しているのは130名です。

委員 幼稚園を入れると全然スペースが足りない。

貞野教育次長 今の東保育所では無理です。最初はそれも検討はしたのですが、認定こども園化して幼稚園の子ども4歳、5歳児を、東保育所のスペースで保育してくれないかという話しもありましたが、少し難しいということでした。

委員 近隣の川田、川島もあるし仕事に行かれる方は、大概預けられるので、たくさん人がいれば分配できるなど。タダとはいえませんが。

貞野教育次長 今でも東保育所は約11.5%です。現在、幼稚園児4歳、5歳児を合わせて26名、それにプラスになるので、少し難しいです。

石川教育長 平成29年度からこども園にできないかということで、条件として支援センターが施設としてもなければいけない、単に保育所と幼稚園の教室があれば良いというだけではないけません。仮園舎を横に足すのではダメであって、完全に平成29年度は保育所と幼稚園は別枠で1年間いかなければいけません。保育所はそのままいけるので、幼稚園

	<p>の施設をどうするか。山瀬の校長先生と話をして小学校の教室でどうにかいけたらなと思っています。やはり、身体も小さいですから、トイレの問題もあるし、預かりをするのであれば部屋の問題もありますし、幼稚園と小学校が同じ校舎ですので、1年間は遮断できる必要であるだろうとか、その辺りを検討しているところです。</p>
委員	<p>スペース的には、使っているのか使っていないのかテニスコートもありますし。</p>
石川教育長	<p>もし少し改良したような形で、山瀬小学校を使わせて頂くとしたら、改良した結果もたった1年間だけ使えるというのではなく、将来的にはずっと使えるように、いろいろ工夫していければと思います。</p>
委員	<p>平成29年度は、預かり保育をされる計画はありますか。</p>
住友学校教育課長	<p>山瀬小学校の校舎内の預かり保育となるので、セキュリティの問題とか、預かりは5時45分までで引き取ってくださいとお願いをして、幼稚園の職員は預かり保育を6時までしているのですが、小学校の教員の勤務時間とは1時間違います。その辺りを考えたりすると、現状のままで預かりの時間を維持することは難しい可能性があり、今後考えていかなければなりません。もし、現状のままの時間帯で預かりをするのであれば、施設面等、どのように改良すれば良いのか、検討していかなければならないと思います。</p>
委員	<p>もし可能だとすれば、仮校舎を建設していくという、先ほど教育長にお話を聞いたら、それほど高額ではないということで、幼稚園と小学校とで考えてみても良いかもしれません。今特に預かりをされるという話でしたので、なおさらではないかなと。ただ1年だけですので、そこまでしなくても良いのかなとも思います。2年3年というのであればと思いますが。本来は仮校舎かなと。場所がないのではないのですか。</p>
石川教育長	<p>それも考えましたが、結局仮校舎ではきちりしたものは作れないと思います。日ごろの教育活動の中で不自由な部分もあるかもしれませんが、施設面としては良いのかなと。</p>
委員長	<p>実際に、工事期の子ども達の安全面も気にされたと思います。保護者も同じように1年間であってもその子にとっては大事な1年間であって、そういう面を考えて、小学校でするのであっても、校長をはじめ小学校の先生方にも了解を頂いたり、施設を利用するときには安全はもちろんですが、自由に活動できる場があるとかいろいろ配慮頂いて、我慢してくださいというのではなく、こちらに来たので小学校の児童とふれあう時間もあって、その分は楽しいですよと、そのような面も考えて頂いて、子ども達にとって安全が第一、活動に支障なく生活ができるという部分に配慮して計画もしていただけたらな、と思います。</p> <p>それでは、「教育長報告」をよろしく申し上げます。</p>
石川教育長	<p>この夏休み中の話としては、全国的にいじめによる自殺、岩手の事件があって、いろいろな調査がきており、本市としても各学校への調査も行っています。命ということも含めまして先週、残りあと1週間夏休みがあるという段階で、交通事故、水難事故、鳥獣柵の危険箇所の確認を各学校に通知し、再度子ども達の環境を考えてくださいという旨の手紙も発送しました。8月25日に、全国学力状況調査の結果報告があり、本市については寒川教育次長の方から後ほど説明させていただきます。</p> <p>約40日間、本市の園児・児童・生徒とも大きな事件・事故もなく、順調に進んでいます。休み中に交通事故で加害・被害が少しあったようで注意喚起させていただきました。</p> <p>7月23日、24日に地域審議会、その前に21日、22日から4日間連続であったのですが、審議会に出てきました教育委員会への質問についてお話させていただきます。山川地区で行われました地域審議会では、いじめ問題についての話がありました。今後、再編されての廃校施設の利用についてということで、ご質問ご意見を頂きました。川島地区では、就学援助認定についてのお話があり、最近生活保護等のことがいろいろある</p>

のですが、厳しくてもいいのではないかという意見もありました。それと、川島小学校の南側の空き地、市の敷地なのですが、この時期たくさん草が生えていて子ども達の通学などでも十分配慮して欲しいということで、学校の方でも対応をしてくれているようです。鴨島地区では、学校再編について地域の声をもっと聞いてくださいということで、これは鴨島東中学校区の委員の意見でした。美郷地区については、ほたるを美郷全域で飛ばせないかということで、今のところ東山方面の河原にほたるが生息しない場所があって、美郷全体でほたるが飛ぶように考えてもらえないかという、ご意見がありました。あと、夏休みですので、いろいろと研修を中心にさせて頂いています。7月24日は、中学生介護基礎研修会が行われ、今年は鴨島東中学校の生徒を対象に行い、8月7日までの間に、介護についてのいろいろな研修を子ども達が積んでくれました。皆さん本当に真面目に一生懸命取り組んでくれて、良い研修となったようです。先生方への研修として、毎年行っております、指導力人間力向上研修が、7月29日にスタートしまして8月11日まで、6回を今年も実施させて頂きました。人権教育、学力向上、ICT、特別支援等、意義ある研修会ができたと思います。先生方の感想を聞かせて頂くと、良い研修会だったとの意見をたくさん頂いて、来年に向けても考えていかなければという話をさせて頂きました。

それから、各地区ごとの学校保健委員会を毎年行っているのですが、山川・美郷地区、川島地区、鴨島地区でそれぞれ、学校医、保護者、養護教諭、各教職員の方々を中心に、子ども達の健康状態について今の現状と講師の先生をお招きして、健康に関するいろいろな話をさせて頂きました。

いよいよ来週から2学期が始まります。今朝、ラジオで小中学生の自殺は9月1日が多いというニュースを耳にしました。夏休みが明けて、学校へ来たときに、どうしても馴染めないということが全国的にたくさん出てきているということで、特に十分気を付けていきたいと考えています。

最後に、皆さんご存じの通り、本県におきましても、今週から2学期開始というところがたくさんあります。来年度どのようにしていくか、委員の皆さんにご意見を頂きながら決めていければと思いますので、よろしく願いいたします。私の方からは以上です。

委員長 ありがとうございます。それでは、「その他」について、よろしくお願い致します。

井上教育総務課長 それでは「その他」について3点ほど申しあげます。まず1点目は、「全国学力学習状況調査の結果の概要」について、2点目は、「平成27年度四国地区市町村教育委員会協議会開催」について、3点目は9月の「定例教育委員会の日程」についてです。それでは、まず最初に「全国学力学習状況調査の結果の概要」について、寒川次長より説明をお願いします。

寒川教育次長 全国学力学習状況調査についてお計りいたします。

先ほど教育長のお話にもございましたが、8月25日に、小学校6年生、中学校3年生全員を対象に、4月に実施した2015年度、全国学力・学習状況調査結果が文科省により公表されました。翌26日には、広くマスコミに取り上げられたところでございます。

このことにつきまして、徳島県においては、小学校6年生が前年度42位から27位に、中学校3年生が前年度31位から29位に順位を上げた状況となっております。

本市におきましては、県平均を上回ったものが多く、概ね取り組みの成果も出てきていると考えておりますが、課題もあり、詳しくはこの後分析してまいりたいと考えておりますので、詳細につきましては、後日、定例教育委員会でご報告させて頂きます。

本日、お計り致したいのは、調査結果の公表についてでございます。今年度においては、多くのマスコミから吉野川市はどうするのかという問い合わせがありました。全国的な傾向として、何らかの方法で調査結果について公表する教育委員会が増えているのではないかと考えられます。また、学力向上には、当然、学校だけの取り組みでは効果も限られるということで、保護者の理解・協力が不可欠であります。このことを踏まえると、本市においても、公表することが望ましいのではないかと考えております。

公表にあたっては、調査結果の点数や学校の順位の公表は、学校間の過度な競争をおおることにつながる可能性があると考えられるため行いません。今、考えておりますのは、全国学力学習状況調査を受けて、本市の全体的な状況や傾向、今後の取り組みについて、子どもの生活状況について資料を作成し保護者に配布したり、ホームページの活用したりするなどございます。

本日一例として、兵庫県丹波市のものを用意させて頂きました。丹波市では、読書時間、ゲーム、携帯についても取り上げられています。

この件につきまして、ご審議よろしくお願いたします。

委員長 ありがとうございます。このことにつきましてご意見はございませんか。

委員 このようなものを作成して、各家庭に配布するということですか。

寒川教育次長 そうです。広報誌のように紙媒体という方法もありますし、ホームページを利用してという方法もあります。まだその辺りについては、煮詰められていません。いずれにしても、保護者に届くような形を考えています。昨年までは小中学校の校長会において本市の状況を各学校の校長にお知らせをして、それを自校のものと比較して、取り組みに活かして頂くということで留めておりました。本年度については、保護者にも提供すべきということで考えています。

委員 携帯やゲームはほんとにダメで、夜も寝れないし、中毒になります。とても怖いことです。

寒川教育次長 スマホのことについては、実は3月の議会でも出ておまして、スマホの扱いに困っていると。学校や教育委員会から保護者に言ってくれればということで、ただ単にそれをするなどいうのではなく、昨年の学力学習状況調査を文科省が分析したところ、スマホを利用する時間と正答率との相関関係がでて、4時間、5時間もスマホを触っている子については正答率が低いというデータがあり、そのようなこともアピールする必要があると考えます。

委員長 加えて家庭での読書もして頂きたいと思います。小学校の場合は親子で進めて頂きたいです。

本当に柔らかな表現で、平均と同程度ということで、はっきり知りたい方には歯がゆい感じもありますが、調査がどのようなことであったか、課題がどこにあるというのがわかりやすい言葉で書かれていると思います。

委員 数学、算数、国語の点数を公表する必要がないと思います。各学校で校長先生もたぶん考えられるところで数字って一人歩きますから、必要ないと思いますし、生活状況の調査みたいで、家庭の協力を得て、活用していけば良いと思います。

委員 突出した公表というのは吉野川市と他市町村と比べて、たくさん公表することは極力控えて、横並びで他市町と見比べながらやっていくという程度で公表していくというのが良いかもしれません。デリケートな問題です。

ひとつだけ教えて頂きたいのですが、学力テストの結果は教育委員会は当然、全学校の成績はご存じとは思いますが、例えば鴨島東中学校の先生が、鴨島第一中学校や山川中学校の成績を見れるなど、共有しているのですか。

寒川教育次長 成績は自校の分のみです。先ほど申し上げたとおり、市の平均的なものについては、各学校の校長にはお教えしています。自校と比較して、指導に活かして頂くということです。

委員 ある程度のきれいな数字ではないですが、共有したものがあって、問題点を校長先生同士で話合って、何点というところまではいかなくても、先生方で問題点が共有できる

ような、他の学校の良いところを真似ることができる程度くらいであれば、かまわないかなと思います。吉野川市内である程度の問題提起をしながら、助けあうというようなことがあっても良いような気もしました。ただし、はっきり数字を出すというのでは無くて。

石川教育長 県内の各小学校、各中学校が、自校は県内でだいたいこれくらいという資料は頂ける、それについては市の方で取りまとめをして、例えば中学校県内80校の中で、何ポイントから何ポイントのまでの間が何校という風にして先生方にお配りする。自分のところは持っていますので、上から何番目、下から何番目のグループにいるというのがわかります。それを参考にして自校のレベルが他校に比べて何番目かというのは、ある程度わかるのではないかと思います。

委員 学力というのは知識の量だけでは計れないということを保護者や地域にしっかりと知らせて欲しいと思います。ついそちらに傾いて、点数や順位ということにいきがちなんですけど、テストで計れるものばかりが学力では無いということを、きっちりとわかりやすく伝えることが大切だと思います。

寒川教育次長 マスコミにも出ていましたけれど、学力テスト対策ということで4月の下旬までは新しい教科書を使わずに対策をしているところもあるそうです。吉野川市も県から求められるのは、学力向上ということで言われますし、非常に難しいところです。

石川教育長 本市くらいの規模になると、学年色によって全然違います。今年の中学三年生は良い、今年の中学三年生は厳しい等、そこまで出ます。

委員 その学校では思っている、市全体、県全体では悪い時もありますし、点数だけではわかりませんよね。

石川教育長 ソフト面になりますが、市としては、全体的にこのような状況で頑張ってもらって生きる力をつけていこうという資料にしたいです。先ほどお話し頂きました、本市が突出するのではなくて、他郡市と情報交換し、どこまでするのか共通理解しながら、本市ではこれまで口頭での公表でしたが、今年はこのような形で公表を考えているところです。

各学校で、このような形は別にして全部ではないかもしれませんが、小学校も中学校も通知していますよね。保護者にも保護者宛てに行っていますね。

委員 それぞれで行っています。

委員 自校にはこのような課題があるのかということですね。

寒川教育次長 また後期の学校訪問の際にも、そのようなことをどんどん出して頂くようお願いしています。

委員長 よろしくお願ひします。

井上教育総務課長 それでは2点目の、「平成27年度四国地区市町村教育委員会協議会開催」について、8月20日に徳島県市町村教育委員会連合会より案内が来ております。今年は徳島県が開催地となっていて、開催日が平成27年11月9日(月)13:30からホテル千秋閣で行われます。ご希望される方は、9月4日(金)までにご連絡を頂きますよう、よろしくお願ひいたします。

引き続きまして、3点目は、9月の定例教育委員会の開催日ですが、予定日としましては、9月29日(火)、9月30日(水)で、どちらに致しましょうか。

委員長 9月30日(水)でどうでしょうか。

一同	はい。
委員長	それでは、9月30日（水）をお願いします。
井上教育総務課長	9月30日（水）ということで予定させていただきます。なお、事前に奨学金の審査会が13時30分から開催され、その後14時00分から定例教育委員会を開催致します。
委員長	他に何かありますか。ないようですので、以上を持ちまして、吉野川市定例教育委員会を終了致します。